

実質化された人・農地プラン

伊賀良地区農業振興会議

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
飯田市	伊賀良地区 (三日市場集落)	令和4年1月25日	

1. 対象区域の現状

①地区内の耕地面積	95.4 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	59.5 ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	21.9 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.6 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	4.8 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	25.8 ha
(備考) 中間管理機構の活用等により、現状農地の貸借があるが、詳細は確認できていない。 引受けの意向がある面積は、一定の条件が整っていることが前提	

2. 対象地区の課題

<p>1) 今後70才以上で後継者未定・不明の農業者の耕作面積よりも、中心経営体が引受け意向のある耕作面積の方が、対象区域内では15.4ha多いが、引き受けるには基盤整備等も含めて条件が整っていないと引受けができないため、現状のままでは引受けできる面積は限られ、新たな農地の受け手の確保が必要。</p> <p>2) 高齢化等により耕作ができなくなると遊休農地や荒廃農地が増えてくることが予想されるが、地域内の方だけでは維持管理は難しい。地域外の方で耕作を希望する方がいれば受け入れが必要。</p> <p>3) 農業は苦勞のわりにもうからない(手取りが少ない)。販売戦略の検討や栽培経費の圧縮、作業の省力化等によりある程度もうかる農業にならないと次世代の農業は難しい。後継者ができない。</p> <p>4) 拡大意欲のある認定農業者がいても、進入道路も狭く起伏もあり現状のままでは借りてくれない。基盤整備などの取組みが必要。</p> <p>5) Iターンなど、都市部からの移住者・地区外の力をたよる農地、農業を維持していく考え方が必要である。維持のみでなく都市部との交流により農産物の販売にもつながり、農業経営を続けていくことが可能。</p> <p>6) 対象区域内に所有者不在農地があり、集約化の促進には整理し意向確認を進める必要がある。</p>

3. 対象区域内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>1) 上の平地区集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者1経営体が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。</p> <p>2) 中部地区集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者1経営体が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。</p> <p>3) 東部南部地区集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者2経営体が担っていくほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進することにより対応していく。</p> <p>4) 基盤整備などの取組みで、農地の手直し・進入道路の確保等必要な整備を促進し、優良農地として集約化に対応していく。</p>
--

4. 3 の方針を実現するために必要な取組みに関する方針(任意記載事項)

1)農地の貸付等の意向 人・農地プラン実質化に関するアンケートによる将来の農業経営縮小の意向が確認された農地は、9.2haとなっている。意向の詳細を整理し、集約化の促進に対応していく。
2)農地中間管理機構の活用方針 将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は出し手・受け手にかかわらず中間管理機構の活用を進めていく。
3)基盤整備への取組方針 農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため対象区域において、農地の大区画化・汎用化等の基盤整理に取り組む。
4)農業経営を維持する取組方針 ・グリーンツーリズムの受入れ等県外者との交流の場づくり、地域の PR 等の情報発信により移住者受入れの促進や農産物販売につなげ、農業経営の安定を目指し農業の維持に取り組む。 ・標高差や栽培品目の違いにより地域内農家で農作業を協力し合い、農業者同士の協力により地域農業の維持に取り組む。

(参考)中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	施設花き	0.51ha		現状維持	
認農	B	肥育牛・果樹	1.05ha		現状維持	
認農	C	施設花き	1.90ha		現状維持	
認農	D	野菜・果樹	0.51ha		現状維持	
認農	E	施設きゅうり	1.05ha		現状維持	
認農	F	水稻・果樹	7.52ha		現状維持	
認農	G	ぶなしめじ			拡大意向	三日市場(中部1)
新規	H		新規就農			三日市場(上の平)
認農	I	ぶなしめじ			現状維持	三日市場(東部)
認農	J	きゅうり・ねぎ	2.16ha	果樹	1.0ha	三日市場(南部)
認農	K	水稻・果樹	2.02ha		現状維持	
認農	L	水稻・果樹	1.81ha		現状維持	
認農	M	果樹	2.00ha		現状維持	
認農	N	果樹	1.52ha		現状維持	
認農	O	果樹	1.63ha		現状維持	
認農	P	小花木	0.13ha		現状維持	
認農	Q	施設野菜	0.28ha		現状維持	
認農	R	果樹			現状維持	

認農	S	果樹			現状維持	
認農	T	果樹	1.38ha		現状維持	
認農	U	果樹	1.89ha		現状維持	
認農	V	果樹			現状維持	
認農	W	肉用牛等	0.42ha		現状維持	
認農	X	果樹・水稻	1.27ha		現状維持	
認農	Y	果樹・水稻		果樹	0.3ha	
新規	Z	野菜	新規就農			
認農	AA	野菜・果樹		長ネギ等	0.5ha	
新規	AB		新規就農			
認農	AC	果樹・肉用牛			現状維持	
新規	AD	ぶなしめじ	新規就農		現状維持	
認農	AE	水稻・果樹	4.70ha	水稻・果樹等	20.0ha	
認農	AF	果樹・稲作			現状維持	
認農 新規	AG	果樹	3.83ha		現状維持	
認農	AH	水稻・果樹	1.50ha		現状維持	
認農	AI	果樹	1.16ha		現状維持	
認農	AJ	水稻・野菜	1.70ha		現状維持	
認農	AK	露地野菜	9.20ha		現状維持	
新規	AL		新規就農			
新規	AM	水稻・果樹	1.26ha		現状維持	
認農	AN	野菜		野菜	3.0ha	山本
認農	AO	市田柿・水稻	2.0ha	水稻	1.0ha	三穂
認農	AP	果樹	0.5ha		現状維持	竜丘
計					25.8ha	